

残留農薬の検査結果(令和5年度実施分)

1 検査結果

大分類	具体的な種類	検体数	検出		不検出(※2)
			基準値※1超過疑い(違反疑い)	基準値以内	
①ねぎ類	たまねぎ、ねぎ等	2	0	1	1
②野菜	ほうれんそう、ピーマン、えだまめ、いんげん等	55	0	16	39
③果実	いちご、おうとう、オレンジ、グレープフルーツ等	43	0	32	11
合計		100	0	49	51

※1 健康への悪影響を防ぐために設定された食品ごとの値です。(以下、同じ)

※2 検出できる最小の値に満たない値であったことを意味します。

農薬が検出された検体は49検体ありました

農薬検出された49検体のうち基準値を超える検体はありませんでした。

検出(基準値内)

不検出

49%
(49検体/100検体)

51%
(51検体/100検体)

検査した食品全体(100検体)のうち、**51検体**は、検査対象農薬の検出されませんでした。

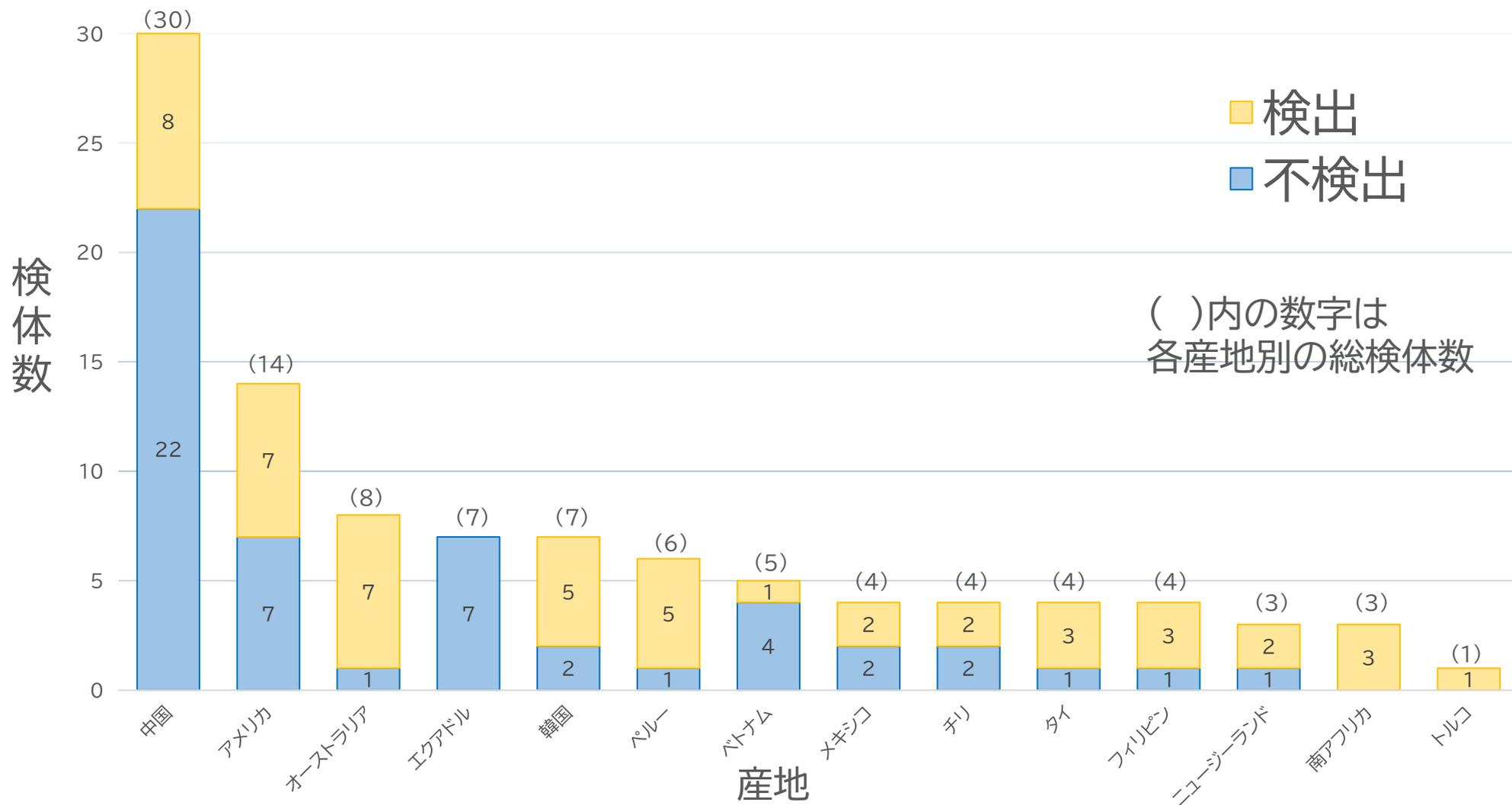
49検体は、検査対象農薬が検出されました。

しかし、検査対象農薬が検出された検体49検体のうち、**残留基準値を超過するものはありませんでした。**

次ページ以降に産地別検出状況や食品種類別検出状況を載せています！

2-1 産地別グラフ

今回買上げ検査した100検体を産地別にわけてグラフにしています。また、グラフ橙色の中の数字は、残留農薬が検出された検体数を示し、グラフ青色のなかの数字は、残留農薬が検出された検体数を示し
買上げ検体の産地上位は、中国産が30検体と最も多く、次にアメリカ産が14検体、オーストラリア産が8検体でした。



2-1-1 残農食品別検出状況(食品-国別)(令和5年度実施分)

農薬が検出された検体を具体的な種類別に分け、検出検体数、種類ごとの総検体数、検出された農産物の産地を表です。

①ねぎ類 ②野菜 ③果物 を各スライドにわけて掲載しています。

ねぎについては表の見方もあわせて記載しています。

①ねぎ類

検出野菜の産地欄:検出された1検体の産地は中国産でした。なお中国産のねぎは2検体検査しています。

具体的な ねぎ類の種類	検出検体総数 (種類ごとの 検体総数)	産地ごとの検出検体数(種類ごとの検体総数)													
		中国	アメリカ	オーストラリア	エクアドル	韓国	ペルー	ベトナム	メキシコ	チリ	タイ	フィリピン	ニュージーランド	南アフリカ	トルコ
ねぎ	1(2)	1(2)													
合計	1(2)	1(2)													

検出検体数欄:ねぎ類のねぎは2検体検査しており、うち1検体のねぎから残留農薬の検出がありました

合計欄:検査したねぎ類全体で、1検体から残留農薬の検出がありました。

2-1-1 残農食品別検出状況(食品-国別)(令和5年度実施分)

②野菜

残留農薬が検出された野菜16検体の産地は下記の表のとおりでした

具体的な野菜の種類	検出検体総数 (種類ごとの検体総数)	産地ごとの検出検体数(種類ごとの検体総数)													
		中国	アメリカ	オーストラリア	エクアドル	韓国	パルー	ベトナム	メキシコ	チリ	タイ	フィリピン	ニュージーランド	南アフリカ	トルコ
アスパラガス	0(6)	0(3)					0(1)		0(1)	0(1)					
オクラ	1(4)	0(2)									0(1)	1(1)			
かぼちゃ	0(1)	0(1)													
その他のきのこ類 (エリンギ)	0(1)				0(1)										
その他の野菜 (れんこん)	0(2)	0(2)													
とうもろこし	0(6)	0(2)	0(4)												
にんじん	0(1)	0(1)													
ピーマン	4(5)				4(5)										
ブロッコリー	1(11)	1(5)		0(6)											
ほうれんそう	6(8)	6(8)													
未成熟いんげん (いんげん豆)	3(6)	0(3)			1(1)						2(2)				
未成熟えんどう (スナップえんどう)	1(3)		0(2)				1(1)								
バナナ (料理用)	0(1)										0(1)				
合計	16(55)	7(27)	0(6)	(0)	0(6)	5(7)	1(2)	(0)	0(1)	0(1)	2(3)	1(2)	(0)	(0)	(0)

2-1-1 残農食品別検出状況(食品-国別)(令和5年度実施分)

③果実 残留農薬が検出された果物32検体の産地は下記の表のとおりでした

具体的な果実の種類	検出検体総数 (種類ごとの検体総数)	産地ごとの検出検体数(種類ごとの検体総数)													
		中国	アメリカ	オーストラリア	エクアドル	韓国	ペルー	ベトナム	メキシコ	チリ	タイ	フィリピン	ニュージーランド	南アフリカ	トルコ
いちご	1(1)									1(1)					
おうとう	1(1)		1(1)												
オレンジ	8(9)		2(2)	6(7)											
グレープフルーツ	3(3)												2(2)	1(1)	
その他のかんきつ類 ※1	1(2)		0(1)							1(1)					
その他の果実 ※2	0(4)							0(4)							
バナナ	3(5)				0(1)		1(1)	1(1)	0(1)		1(1)				
パパイヤ	1(1)										1(1)				
ぶどう	9(9)		4(4)	1(1)			2(2)		2(2)						
マンゴー	1(1)									1(1)					
みかん	1(1)						1(1)								
もも	0(1)	0(1)													
りんご	2(3)											2(3)			
レモン	1(2)									0(1)			1(1)		
合計	32(43)	0(1)	7(8)	7(8)	0(1)	(0)	4(4)	1(5)	2(3)	2(3)	1(1)	2(2)	2(3)	3(3)	1(1)

※1「その他のかんきつ類」：メロゴールド、クレメンタイン ※2「その他の果実」：ドラゴンフルーツ、レッドドラゴンフルーツ、ライチ、龍眼(ろんがん)

2-2 残農食品別検出状況について

農薬が検出された検体を食品の種類別に分け、検出検体数、農薬検出数および検出された農薬の名前を表にまとめました

表の見方例(この表は見方の例として示しており令和5年度実施分ではありません。)

食品の種類	検出検体数 (種類ごとの 検体総数)	農薬検出 のべ数※	検出された農薬名(検出数)※
ねぎ	3(4)	7	ジメトモルフ(2)、アゾキシストロビン、ボスカリド、クロチアニジン、チアメトキサム(2)
合計	3(4)	7	

ねぎから残留農薬の検出がありました

検査した4検体のねぎのうち、3検体のねぎから検出されました

検出検体3検体からのべ7種類の農薬が検出されました

検出された農薬名と()内に検出数を掲載しています。残留農薬が検出された3検体のうち、ジメトモルフ、チアメトキサムが2検体から出てきました。アゾキシストロビン、ボスカリド、クロチアニジンは1検体から検出されました。

※ 1検体から複数の農薬が検出されることがあるため、「農薬検出のべ数」と「検出検体数」は、一致しないことがあります。また検出数が1件の農薬は、農薬名の欄の検出数を省略しています。

2-2 残農食品別検出状況(令和5年度実施分)

①ねぎ類

食品の種類	検出検体数 (種類ごとの 検体総数)	農薬検出 のべ数※	検出された農薬名(検出数)※
ねぎ	1(2)	1	ボスカリド
合計	1(2)	1	

※ 1検体から複数の農薬が検出されることがあるため、「農薬検出のべ数」と「検出検体数」は、一致しないことがあります。また検出数が1件の農薬は、農薬名の欄の検出数を省略しています。

2-2 残農食品別検出状況(令和5年度実施分)

農薬が検出された野菜16検体を食品の種類別に分け、検出検体数、農薬検出数および検出された農薬の名前を表にまとめました

②野菜

食品の種類	検出検体数 (種類ごとの 検体総数)	農薬検出 のべ数	検出された農薬名(検出数)※
オクラ	1(4)	3	イミダクロプリド、エトフェンプロックス、ジエノメート
ピーマン	4(5)	10	ボスカリド(4)、アゾキシストロビン(2)、シエノピラフェン、クロルフェナピル、テトラコナゾール、ピラクトロストロビン
ブロッコリー	1(11)	4	ジフェノコナゾール、テブコナゾール、ピラクトロストロビン、ルフェヌロン
ほうれんそう	6(8)	15	ジメモトルフ(6)、イミダクロプリド(4)、クロチアニジン(3)、クロルフェナピル、メトキシフェノジド
未成熟いんげん (いんげん豆)	3(6)	3	アゾキシストロビン(2)、シペルメトリン
未成熟えんどう (スナップえんどう)	1(3)	2	テブコナゾール、トリフロキシストロビン
合計	16(37)	37	

※ 1検体から複数の農薬が検出されることがあるため、「農薬検出のべ数」と「検出検体数」は、一致しないことがあります。また検出数が1件の農薬は、農薬名の欄の検出数を省略しています。

2-2 残農食品別検出状況(令和5年度実施分)

農薬が検出された果物35検体を食品の種類別に分け、検出検体数、農薬検出数および検出された農薬の名前を表にまとめました

③果物

※ 1検体から複数の農薬が検出されることがあるため、「農薬検出のべ数」と「検出検体数」は、一致しないことがあります。また検出数が1件の農薬は、農薬名の欄の検出数を省略しています。

食品の種類	検出検体数 (種類ごとの 検体総数)	農薬検出 のべ数	検出された農薬名(検出数)※
いちご	1(1)	1	ビフェントリン
おうとう	1(1)	1	フェンプロパトリン
オレンジ	8(9)	22	ピリメタニル(7)、フルジオキシニル(7)、アゾキシストロビン(2)、メトキシフェノジド(2)、シフルトリン、ジフルベンズロン、ブプロフェジン、マンジプロパミド
グレープフルーツ	3(3)	5	メトキシフェノジド(2)、ピラクトロストロビン、ピリダベン、マラチオン
その他のかんきつ類 ※1	1(2)	4	アセタミプリド、エトキサゾール、ピリプロキシフェン、フルジオキシニル
バナナ	3(5)	3	クロルピリホス、スピノサド、シハロトリン
パパイヤ	1(1)	1	アゾキシストロビン
ぶどう	9(9)	35	ボスカリド(6)、ピラクトロストロビン(3)、イミダクロプリド(3)、シプロジニル(2)、ピリメタニル(2)、テブコナゾール(2)、フルトリアホール(2)、メトキシフェノジド(2)、フルジオキシニル(2)、アセタミプリド、シフルフェナミド、フェンピロキシメート、テトラコナゾール、ブプロフェジン、トリフロキシストロビン、キノキシフェン、クロルピリホス、クレソキシムメチル、ビフェントリン、ミクロブタニル
マンゴー	1(1)	1	アゾキシストロビン
みかん	1(1)	1	ピリプロキシフェン
りんご	2(3)	2	ピリミカーブ(2)
レモン	1(2)	1	ピラクトロストロビン
合計	35(38)	77	

※1 その他のかんきつ類のうち「クレメンタイン」から検出がありました。